

介護保険サービスの質を高める 4つの最新ガイドライン・報告書エッセンス



今回公開された4つのサポートツール



1. サービスの「適正化」



2. 「多職種チーム」での連携



3. 新しい用具の「提案」



4. 専門員の「人材育成」



1.サービスの 「適正化」をサポート

住宅改修や福祉用具の利用が適切に行われているか。点検や調査をスムーズに進めるための「手引き（第二版）」が登場しました。

点検・調査のポイントがすぐわかる



判断に迷う事例と、対応のヒント



調査を行うベストなタイミング



地域での連携ノウハウ



2.「多職種チーム」で 在宅生活を支える

福祉用具の専門家が、地域の多様な専門職と連携し、より良い支援を行うための役割をまとめた報告書です。

切れ目のない支援のために



- 要支援前からの「介護予防」サポート
- 施設から自宅へ戻る際の「退所時連携」
- ケアチーム内での役割の明確化



3.「新しい福祉用具」 を提案・検証する

介護保険の対象となる新しい福祉用具の提案ルールや、効果を検証するための具体的な手法が整理されました。

提案を成功に導く3つの視点



有効性

(本当に役立つか)

安全性

(安心して使えるか)

**保険適用の
合理性**

(保険を使うべきか)



4. 専門員の「スキルアップ」を図る

現場での教育（OJT）を充実させ、福祉用具専門相談員の知識と技術を向上させるためのマニュアルが登場しました。

入社から1年での「独り立ち」へ



- 3か月ごとの習熟度チェックリスト
- サービス提供の場面別の指導法
- 定期的な振り返りで成長を実感

目的別ツール活用マップ

	自治体担当者	貸与事業所スタッフ	開発・製造事業者
手引き（適正化）	○	○	
報告書（多職種連携）		○	
提案書ガイド（新規提案）			○
OJTマニュアル（人材育成）		○	



さあ、現場で活用しましょう

各種ガイドライン・マニュアル・報告書は、
指定の公開先からダウンロード可能です。
日々の業務やサービスの向上に、ぜひお役立てください。